

チャノホコリダニへの気門封鎖型殺虫剤の効果

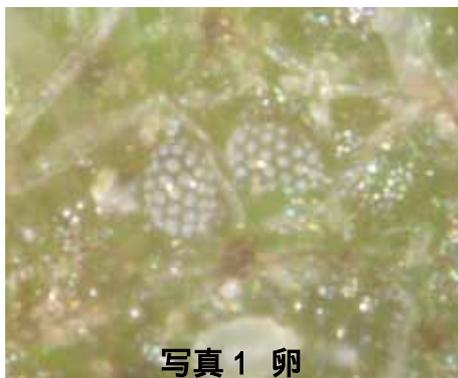


写真1 卵

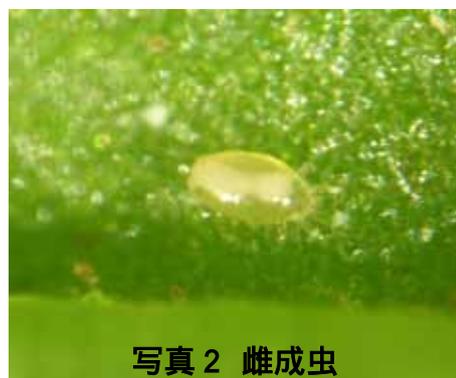


写真2 雌成虫

表1 チャノホコリダニの気門封鎖型殺虫剤に対する感受性検定結果

薬剤名	希釈倍率	補正死虫率 ^a (%)
アカリタッチ乳剤	1,000倍	100.0
粘着くん液剤	100倍	19.0
エコピタ液剤	100倍	0.0
サンクリスタル乳剤	300倍	46.7
オレート液剤	100倍	24.0
対照(イオン交換水)	-	0.0 ^b

注1) a: 補正死虫率 = (対照区生存虫率 - 処理区生存虫率) / 対照区生存虫率 × 100

注2) b: 死虫率を示す。

注3) 試験方法: 直径2cmのインゲンリーフディスクを0.4%寒天培地上におき、チャノホコリダニ雌成虫(当センターで累代飼育している個体群)を10頭ずつ接種した。接種後、回転式薬剤散布塔を用い、圧力200mmHg/cm²で1容器当たり4mLずつ処理した。24時間後に生死を調査し、各処理とも3連制で試験を実施した。

ナス科果菜類に発生するチャノホコリダニ(写真1、2)は多発すると作物の茎頂部が枯死し生育が停止するため、被害は長期間に及び経済的な損失は甚大となります。また、チャノホコリダニは今のところ薬剤防除以外に効果的な防除法がありません。しかも、マイナー作物であるシシトウでは使用できる防除薬剤が少なく被害は拡大しています。そこで、野菜類で登録されている気門封鎖型殺虫剤5剤のチャノホコリダニに対する防除効果を検討しました。

その結果、アカリタッチ乳剤の防除効果が最も高く、次いで、サンクリスタル乳剤の防除効果が高かったです。一方、オレー

ト液剤、粘着くん液剤の防除効果は低く、エコピタ液剤は防除効果が全く認められませんでした(表1)。

以上の結果より、アカリタッチ乳剤はチャノホコリダニの防除薬剤として有効で、サンクリスタル乳剤も連続散布で用いれば利用可能と考えられました。

なお、気門封鎖型殺虫剤はタイリクヒメハナカメムシやタバコカスミカメなどの天敵に対して影響を与える可能性も考えられますので、天敵の密度が低い時の使用は控えるなどの注意が必要です。

(昆虫担当 中石一英 TEL088-863-4615)